

1 長野市の将来像

つむ

幸せを未来へ紡ぐ『ながの』

～住みたいまちはみんなで創る～

四季折々の豊かな自然や里山の風景

善光寺門前町や松代などの歴史的まちなみ・文化

おやきやそばといった独自の食文化や、りんごやぶどうなどの特産品

冬季オリンピック・パラリンピック開催地としての誇り

地域に根付いた、温かい人と人とのつながり

多様な人が自分らしく暮らし、活躍できる風土 など

長野市には、暮らしの豊かさや心地よさを感じられる、たくさんの魅力があります。

これら一つひとつの魅力が、日々の暮らしに「幸せ」をもたらしてくれます。

こうした幸せの要素をつなぎ合わせ、積み重ね、次の世代へと受け継いでいく。

そして、今を生きる人も、未来を生きる人も、みんなが幸せを実感できるまちにしていきたい

この思いを、「幸せを未来へ^{つむ}紡ぐ『ながの』」という言葉に込めました。

また、変化の激しい時代だからこそ、行政、市民、企業、団体など、本市に関わる様々な人たちが、それぞれの強みを活かして主体的にまちづくりに参画し、互いに支え合いながら、力を合わせて取り組むことが大切です。

『ひと』にやさしく、誰もが自分らしく生きるまち

人と地域と自然がつながり、誰もが安心して暮らせる『まち』

創造と挑戦が『産業』を育み、進化し続けるまち

「この街で、わたしらしく生きる。」という本市の都市ブランドを、市民をはじめとする多様な主体とともに守り、育みながら、

「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちを、みんなで創っていきます。